

## 令和5年度 第2回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和5年7月22日（土）9時00分～12時00分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 子ども会議委員11名、子どもサポーター2名、事務局3名
- 4 活動内容 夏休みの活動について
- 5 開催概要

本格的に活動していくにあたり、グループに分かれて夏休みの活動の計画を立てました。

### 夏休みの活動について

#### <もともとある魅力を普及するグループ>

グループ名は、“青森の推しを発信し隊”を略して「オン隊」に仮決定しました。今日は3人しか集まらなかったため、次回のメンバーが集まったときにグループ名を決定します。

今後の活動としては、グルメでは、昔の子ども会議でも取り上げた“海道そば”を、次は青森市子ども会議の公式 Instagram で発信したい、特産品であるりんごの中でもケーキやアップルパイなどのスイーツに合う品種を見つけたい、青森のソウルフードである棒パンや八甲田牛、そのほかトマトやとうもろこしなどの特産品についても発信したい、という意見があがったので、夏休み中に計画的に実施する予定です。

スポットでは、子ども会議が考える浅虫のお手軽散策コースとして、足湯を満喫したり、温泉卵を作ったりカフェを巡るコースを考えたり、アスパムの展望台やお土産屋さんの紹介、有名な建築家が手掛けたACAC（国際芸術センター）を発信したい、という案がでました。

メンバーそれぞれで発信したい青森市の魅力は異なるので、次回集まるメンバーのアイデアも取り入れて、今年度の活動計画を立てていきます。



#### <魅力を改善・新しくつくるグループ>

グループ名は、「改善する」の英単語“improve”を使いたいという意見が出たので、“Improve Aomori City by children（子どもたちで青森市をよくする）”から「Improve A.B.C.」に決めました。

夏休み中にやりたいこととしては、ポイ捨てが多いことから「ごみがない青森市」「海がキレイな青森市」にするため合浦公園でゴミ拾いを行うこととしました。また、あわせてごみについての知識を深めるために、青森市の清掃工場を見学することにしました。

また、読書率の向上のため、夏休み中に1人1冊おすすめの本を見つけ、それをInstagramに投稿し、読書を呼びかけたいと思います。さらに、市内の図書館にお邪魔し、利用者数の変化や人気の高い本のジャンルなどを調査することにしました。

最後に青森市の改善点を探するため、悪いところをみんなでたくさん出したので、それらを改善した「わたしたちの考える理想の青森市」について考える予定です。



また、事務局から他都市との交流会が松本市に決まったことを教えてもらい、みんなでどんな交流をしたいか話し合いました。子どもの権利に関するクイズを出し合えば楽しいのではないか、という意見があり、オンライン交流会では自分たちが考えたクイズを出し合っ、楽しく交流したいです。

最後に、青森ねぶた祭での子どもの権利普及啓発活動が8月2日に決まったことの説明を受け、会議は終了しました。